

# 平成28年度保護林モニタリング調査中間報告

## ■西ノ川山林木遺伝資源保存林

### ◇トガサワラの本数の比較（調査プロットの面積：0.1ha）

- ・調査プロットNo.1の生立木が1本減少（胸高直径26.6cm）。
- ・調査プロットNo.2では増減なし。
- ・調査プロットNo.3,4には測定対象木なし。

### ◇トガサワラのhaあたりの立木本数と胸高断面積合計及び実生調査結果の比較

調査プロット No.	H22年度 生立木本数	H28年度 生立木本数	haあたりの立木本数(本/ha)			胸高断面積合計(m <sup>2</sup> /ha)			実生調査結果	
			H22	H28	増減	H22	H28	増減	実生調査区内	実生調査区外
1	3	2	30	20	減少(10本)	2.84	2.04	減少(0.80m <sup>2</sup> )	無し	有り
2	3	3	30	30	増減なし	21.91	27.95	増加(6.04m <sup>2</sup> )	無し	有り
3	-	-	-	-	-	-	-	-	無し	無し
4	-	-	-	-	-	-	-	-	無し	無し

### ◇自動撮影カメラ調査結果(ニホンジカ)

- ・カメラ1：332枚/64日
  - ・カメラ2：21枚/9日
  - ・カメラ3：112枚/19日
- ※設置期間：6/23-11/4、設置日数：135日

### ◇植生調査結果の比較

- ・植被率、主な出現種に大きな変化はみられない。
- ・出現種数は増加しているが、前回調査は11月に行われており、確認できなかった種があった可能性がある。

# ■魚梁瀬林木遺伝資源保存林

◇トガサワラの本数の比較（調査プロットの面積：0.1ha）

- ・調査プロットNo.1,2では増減なし。
- ・調査プロットNo.3,4には測定対象木なし。

◇トガサワラのhaあたりの立木本数と胸高断面積合計及び実生調査結果の比較

調査プロット No.	H22年度 生立木本数	H28年度 生立木本数	haあたりの立木本数(本/ha)			胸高断面積合計(m <sup>2</sup> /ha)			実生調査結果	
			H22	H28	増減	H22	H28	増減	実生調査区内	実生調査区外
1	2	2	20	20	増減なし	21.52	22.04	増加(0.53m <sup>2</sup> )	無し	有り
2	6	6	75	75	増減なし	3.92	4.11	増加(0.19m <sup>2</sup> )	無し	無し
3	-	-	-	-	-	-	-	-	無し	無し
4	-	-	-	-	-	-	-	-	無し	無し

◇自動撮影カメラ調査結果(ニホンジカ)

- ・カメラ1：2枚/1日
- ・カメラ2：10枚/4日
- ・カメラ3：15枚/10日

※設置期間：6/21-11/1、設置日数：134日

◇植生調査結果の比較

- ・植被率、主な出現種に大きな変化はみられない。
- ・出現種数は増加しているが、前回調査は11月に行われており、確認できなかった種があった可能性がある。

# ■安田川山林木遺伝資源保存林

## ◇トガサワラの本数の比較（調査プロットの面積：0.1ha）

- ・調査プロットNo.1には測定対象木なし。
- ・調査プロットNo.2では増減なし。
- ・調査プロットNo.3の生立木が3本減少（胸高直径8.8cm、15.5cm、不明1本）。
- ・調査プロットNo.4の生立木が5本減少（胸高直径13.2cm、21.5cm、不明3本）。

## ◇トガサワラのhaあたりの立木本数と胸高断面積合計及び実生調査結果の比較

調査プロット No.	H23年度 生立木本数	H28年度 生立木本数	haあたりの立木本数(本/ha)			胸高断面積合計(m <sup>2</sup> /ha)			実生調査結果	
			H22	H28	増減	H22	H28	増減	実生調査区内	実生調査区外
1	-	-	-	-	-	-	-	-	無し	無し
2	1	1	10	10	増減なし	2.21	2.37	増加(0.16m <sup>2</sup> )	2個体確認 (6.5cm、 6.0cm)	無し
3	28	25	370	310	減少(60本)	20.45	19.79	減少(0.66m <sup>2</sup> )	1個体確認 (4.9cm)	有り
4	20	15	230	165	減少(65本)	12.18	10.39	減少(1.79m <sup>2</sup> )	無し	無し

## ◇自動撮影カメラ調査結果(ニホンジカ)

- ・カメラ1：4枚/1日
  - ・カメラ2：18枚/6日
  - ・カメラ3：47枚/17日
- ※設置期間(カメラNo.1)：8/9-11/1、設置日数：85日  
 ※設置期間(カメラNo.2,3)：8/10-11/1、設置日数：84日

## ◇植生調査結果の比較

- ・調査プロットNo.2以外では植被率、主な出現種に大きな変化はみられない。
- ・調査プロットNo.2の定点写真の比較では、林相の大きな変化はみられない。
- ・出現種数は増加している(前回の調査時期は9~10月)。